

令和7年度 第9回新道区地域協議会 次第

日時：令和7年12月23日(火)18:30～

会場：新道地区公民館 多目的ホール

1 開会

2 議題

(1)自主的な審議

3 その他

(1) 次回開催日程について

日 時：令和 年 月 日 () 時 分～

会 場：_____

内 容：_____

(2) その他

4 閉会

〔資料・配布物〕

- ・ 次第
- ・ 資料1 自主的な審議のフレームワーク

～ 地域協議会における会議の心得 5か条 ～

- その1 自分以外の人の考えも聞きましょう（自分ばかり話さない）
- その2 発言は簡潔にしましょう（だらだら話さない）
- その3 建設的な話し合いをしましょう（頭から否定しない）
- その4 話し合いやすい雰囲気を大切にしましょう（相手を責めない）
- その5 個人の意見は平等に扱きましょう（一人の強い意見に偏らない）

自主的な審議のフレームワーク

プロセス	内容	協議結果				
		南～北間の地域間交流	誰もが通りやすい道の確保	新道地区からの眺望の良さ	地域一帯が花で彩られていること	
課題の設定	起きているよくない現象・将来発生する可能性がある事象などを定義する。	・北部と中部・南部との人的交流が希薄。	・県道は自転車・歩行者が通りにくく、ドライバーは配慮が必要。	・新道地区内から見える山々等の眺望がよい。	・河川敷や中央橋、主要施設等が花で彩られている。	
原因(問題)分析	何が原因で課題が発生しているのか明確にする。現状と理想のギャップを分析する。	・県道が狭く、南北のアクセスが悪い。 ・2つの小学校区があり、交流が少ない。	・県道の道幅が狭い。 ・歩道が狭く段差も大きい。 ・雁木が凸凹していて歩行しにくい。 ・雁木があり歩行者は天候に左右されず通れ、安全も確保できる。 ・自転車の走行スペースが確保されていない。 ・雁木は民地。	・関川や河川敷、バイパス、商店街、田園など、新道地区内に様々な景観がある。	・町内、市民活動団体、企業などがそれぞれ植栽活動を行っている。	
解決のための条件・方針(理念、前提)	地域や社会情勢に合った条件や方針を整理する	<ul style="list-style-type: none"> 既存団体の連携・交流・支援（必要に応じて活動内容の見直し） 地域ごとに異なる課題から共通点を見つける（既存の団体・活動をいかす） 地域全体で統一感のある取組とする  ※現状確認：団体等の活動紹介（12月～）				
解決策の検討	考えられる解決策をできる限り挙げていき、優先順位をつける。	方向性	・新道区全体での交流イベントの実施	・植栽等による新道区内の関川河川敷の景観整備 ・バイパスの活用による地域内の交通量の削減	・植栽等による新道区内の関川河川敷の景観整備 ・地域全体で連携した花の植栽活動	・地域全体で連携した花の植栽活動
		具体的な解決策	・	・	・	・
解決策の実行	優先順位が高いものから実行していく。効果検証をして、効果が出ていれば継続する。期待する効果が得られない場合は、他の解決策を取り入れる。					

解決策のための協議事項 … 「解決策」を提案するにあたり、今後整理する事項（各提案ごとに整理）

時期（いつ）	
場所（どこで）	
実施者（誰が）	
対象（誰に）	
物（何を）	
実施方法（どうする）	
数量（どれくらい）	
経費（いくら）	
その他	